

研究協力のお願ひ

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

高位脛骨骨切り術、人工膝関節置換術周術期におけるデュロキセチン使用の効果

1. 研究の対象

2014年3月～2019年3月に当院で高位脛骨骨切り術、人工膝関節置換術を受けられた方

2. 研究目的・方法

変形性膝関節症（以下膝OA）に対する治療として初期には食事、運動、薬物療法などの保存療法が行われるが、それでもなお高位脛骨骨切り術（以下HTO）、人工膝関節置換術（以下TKA）に代表される手術療法が必要となる症例も多く増加傾向である。近年慢性疼痛に対する新規薬剤が導入され、その一つであるデュロキセチンの効果も報告されている。また、慢性疼痛を有する膝OAに対するデュロキセチンの有用性も確立されてきている。しかしHTO、TKA周術期におけるデュロキセチンの効果あるいは副作用に関する報告は少ない。本研究では膝OA例に対しHTO、TKAを施行された患者データを取得し、周術期の疼痛、デュロキセチンの効果あるいは副作用の有無について検討する。患者データは病院内の診療録管理室で「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。

研究期間

昭和大学江東豊洲病院臨床試験審査委員会承認日～2022年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、生年月日、イニシャル、性別、年齢、BMI、喫煙歴、原疾患、既往歴、麻酔方法、手術方法、疼痛スケール、各種検査結果、合併症の有無、使用薬剤、副作用の有無。

試料：血液尿検査結果、生理機能検査結果、単純X線、CT、MRI画像検査結果。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

所属：昭和大学江東豊洲病院 氏名：佐藤 敦

住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6000